

行政視察報告 ～先進地に学ぶ～

総務産業建設常任委員会（令和6年7月24日～25日）

長野県須坂市 ◆ 公共交通計画および公共交通施策について

既存の鉄道や民間バス路線を基軸に、「すざか乗合タクシー」および「すざか市民バス」によってネットワークを形成している。乗合タクシーは市民バスネットワークから離れたエリア（須坂市北西部エリア）を補完する役割を担い、高齢者を主な利用者としてデマンド型の運行をしている。

市民バスは、須坂駅を起点に4つの路線を運行し、周辺の居住地や生活必需施設を連絡する路線となっている。また、民間バス3路線とも乗り継ぐことができ、広域への移動の補助的な役割も担っている。

現在のところ、乗合タクシーは市内全域をカバーしてはいないが、将来的には市内を5エリアに分割し、随時、運行エリアの拡大を検討している。

市民バスの運行経路や停留所の増設等に関しては、市民の声や利用実績を検証し、定期的に見直しを実施している。（大学と連携し、データを活用）特に、停留所においては利用者の要望により、施設内まで入った所に設置し、利便性の向上に努めている。

本市においても公共交通機関への要望が多く寄せられている。ＪＲや宮城交通バス等の既存交通機関との連携や、市民バスきゅっするくん（郡部8路線、中心部の循環便）における利便性の向上に向け、須坂市の取り組みを参考に検討すべきと感じた。



（須坂市役所にて）

長野県大町市 ◆ 鳥獣害対策について



（大型捕獲檻）

近年、鳥獣被害の中でもサルによる被害が全国的にも拡大しており、大町市ではＩＣＴを活用し、正確かつ効率よくサルの捕獲を実施して、鳥獣害被害の減少に大きな実績を示している。被害額は導入前の約3分の1、捕獲頭数は導入前の5倍に増加。住民からの通報も激減している。

《市の実施事業としては》

- ① 生態調査⇒ＩＣＴ（ＧＰＳ、ビーコン等）機器やサル害対策協力員によって行動パターンを調査
- ② サル捕獲事業：大型捕獲檻の導入⇒追い払いと少数捕獲では被害が拡大してしまった。
- ③ 耕作放棄地等における餌となる誘因物除去：市職員が収穫⇒サル捕獲用餌として活用。（鳥獣の餌となる誘因物除去に取り組んでいる）
- ④ 専門職員の雇用：担当職員は銃・罠の免許を所有し、自らも猟友会に所属している。
* 専門の会計年度職員も雇用されているなど、人材が充実している。
- ⑤ 近隣市町との連携が重要：市をまたいだ情報交換を実施（生態調査結果、発信機の装着情報や基地局の設置場所を共有）

本市においても鳥獣被害対策は大きな問題となっている。大町市における官民一体での取り組みによる実績を参考にし、白石市に合ったより良い鳥獣害対策を検討すべきと感じた。



（大町市議会議場にて）